



JAあそだより

平成20年2月



阿蘇市ふれあい水辺公園



■今号16ページ主な内容

- 祈願祭・仕事始式
- 熊本県家の光大会
- 各生産部会で出荷査定会・総会
- 窓口ロールプレイング県大会で最優秀賞

▲阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

新年の誓い新たに
祈願祭・仕事始式



義組合長（写真）が「合併7年目を迎え役員一人ひとりが目標を設定し、今年は更なる飛躍の年にしてほしい」と新年にかけの決意を述べました。そして、J A阿蘇が取り組む課題と取組事項に、役員が一体となって取り組むように訓示しました。

1月7日、年頭の祈願祭と仕事始式が本所で開かれ、役員80人が出席しました。神事が厳かに執り行われた後、仕事始式では丸山信



飛躍の年を祈願してお茶で乾杯

県家の光大会
オープニングに「小倉の虎舞」



家の光大会開会式

第55回熊本県家の光大会が1月11日、熊本市産業文化会館ホールで開催され、J A阿蘇女性部員をはじめ県内J A、家の光愛読者ら700人が参加しました。

開会前のオープニングセレモニーでは、阿蘇市小倉菅原神社に伝わり、昨年40数年ぶりに復活した「小倉の虎舞」が保存会のメンバー30人余りによって演じられました。クライマックスシーンで子供を肩に乗せて舞う「二段継舞」が披露されると、会場からは歓声が上がりました。

開会後、主催者挨拶、来賓祝辞が行われ表彰に移り、J A阿蘇が家の



小倉の虎舞で子供を肩に乗せて舞う「二段継舞」

光「地上」普及功労者表彰を受けました。続いて第30回ちやぐりん読書感想文全国コンクール入賞者の表彰式があり、J A阿蘇管内からは白水小学校4年奥栢愛佳さんの「いのちの音色・戦争はいや！と言えぬ人」と、内牧小学校5年増山怜香さん「当日欠席の「残った給食はどく行く？」が優良賞に輝き、ステーションで表彰されました。その後、「家の光」記事活用体験発表、二遊亭歌之介さんの講演「心に響く笑いと涙の人生学」などあり、盛りだくさんのプログラムを閉じました。



「地上」普及功労者表彰

優良賞を受賞した
奥栢愛佳さん（左）と賞状員（右）



豊作の喜びを表す伝統芸能
「小倉の虎舞」の説明

約400年続く伝統芸能ながら、昭和30年代半ばに途絶え、昨年復活した「小倉の虎舞」。阿蘇の虎舞は威しい自然条件の中で、豊作に感謝する気持ちを表現する庶民の芸能です。阿蘇には、阿蘇神社に奉納される山田の獅子舞があり、また、村々では「これに連想して虎の頭を使ったので「虎舞」になったと言います。後に既製品の獅子頭を買ってくるようになったので、今では獅子舞だけれども名前が「虎舞」ということになっています。虎舞を行うのは、豊作だった翌年の正月に限られていました。豊作に感謝し、また今年も豊作を祈るといふ気持ちを込め、阿蘇谷の村々を巡ったそうです。

今春3月のオープンめざし 久木野新給油所の起工式



J-A阿蘇久木野給油所の起工式が12月10日、新たな建設地となる南阿蘇村のJ-A阿蘇久木野中央支所横で行われました。

当日はJ-A役員や経済連、建設業者ら約40人が出席。神事では丸山信義組合長や木村哲男経済連企画管理部長らが玉串をささげ、工事の無事と安全を祈願しました。

式辞で丸山組合長は「従来の給油所が幹線道路から外れ、給油所そのものも老朽化したことなどから協議を重ねた結果、移転新築をすることとなった。また、この施設は新たな配送拠点と位

置付けをしている。今後とも組合員の高齢化に対応し、いっそうの利便性を図りながら、地域のためになるSS、地域のためになるJ-Aを最終目的としていく」と述べました。

新給油所は延べ面積2233.0㎡で、同時に4台の給油を可能とし新型洗車機も導入されます。給油所裏手にはA重油100kのタンクも設置され、南阿蘇村管内(旧3村)の配送を賄う計画となっており、農家への安定供給が図られる予定です。

新給油所の総事業費は約1億円で、3月上旬完成で中旬にオープン予定です。

写真J-A阿蘇久木野中央支所横の建設地。手前は奥道28号線、奥に見える建物は旧久木野村役場

J-A阿蘇の堆肥 「県畜産協会長賞」を受賞

■熊本県堆肥共助会

2007年度熊本県堆肥共助会が昨年12月に行われ、阿蘇市狩尾の阿蘇市堆肥化センター(高木稔センター長)の野草堆肥が2位の「県畜産協会長賞」(158出品中)を受賞しました。

阿蘇市堆肥化センターはJ-A阿蘇が運営する堆肥化施設で、



表彰状を持つ高木稔センター長

原料として乳牛糞を使用し製造しています。副資材の主成分としては、阿蘇の原野で生育したススキ主体の野草と樹芸くずを使用し、堆肥化の基本条件を管理しながら高品質の堆肥を製造しています。また、発酵時に使用しているプロワローの使い方を工夫し、低コスト化にも努めて、同堆肥を使用している耕種農家からも高い評価を得ています。

高木センター長は「低価格・高品質をモットーに頑張っている。今後の課題として圃場等への堆肥投入の要望が増えることから、如何にして増産できるかを模索している。初めて使われる方はぜひ一度、現場と製品を見てもらいたい」と話していました。

野草堆肥の価格は1t(約2.0t)で4200円。問い合わせはJ-A阿蘇中部管農センターまで。



堆肥の切り返し作業



販売額1億3500万円を目標に
南部イチゴ部会出荷査定会



挨拶をする村上部会長

J A阿蘇南部イチゴ部会（村上豊彦部会長）は昨年11月21日、部会員ら関係者約60名が参加し、南阿蘇村で平成19年産イチゴ出荷査定会を行いました。

査定会に先立ち、村上部会長が「生産者の減少が見られるが、今残っている生産者のイチゴにかける情熱は人一倍ある。安全・安心なイチゴを消費者に届けましょう」と挨拶。

その後、市場関係者から「生産者の減少、面積の減少は大きい、一人一人が自分の役割や何をしなくてはいけないのかをしっかりと考えて、生産に臨んでほしい」とエールが送られました。

現在、作付面積は「とよのか」が2・35ha、「さがほのか」が3・04ha。6月中旬までの出荷を予定し、19年産の目標は出荷数量42万パック、販売金額1億3500万円となっています。

「足腰の軽い産地作り」めざし 市場視察及び産地研修を実施 J A阿蘇南部イチゴ部会

J A阿蘇南部イチゴ部会は、昨年12月3日から4日にかけて、関係市場や量販店を訪問する役員市場視察及び産地研修を、関西地区で行いました。

同部会の目標でもある「足腰の軽い産地作り」を実現するための一環として、香川県の産地を訪問し、春先の単価維持や出荷体制などについて意見交換を行いました。

視察を行った産地は年間を通してキロ当たりの単価が約1200円とということで、関西地区でも高評価を得ている産地となっています。

同部会は現在、レギュラー詰め中心で出荷を行っています。春先の単価安が全体の単価を引き下げる要因となっているのが現状です。そこで販売アイテムを多数

揃え、消費地のニーズに細かに対応している産地視察を今回実施しました。

参加した役員の一人名は「今回の視察で春先の単価維持に向けてのヒントを得ることが出来た」と、今後の産地作りに対する意気込みを話していました。



訪問先の関係者と
意見交換を行う部会役員



平成19年最後のセリ 肥育農家に厳しい状況 ただし子牛相場は高値で推移

■小国郷家畜市場■

小国郷家畜市場で平成19年最後のセリが12月5日行われ、入場数69頭、2579万円の取引が行われました。

内訳は、あか牛雌34頭、高値36万2000円で平均28万3000円。あか牛去勢29頭、高値41万2000円で平均35万円。黒牛雌5頭、高値42万円で平均35万4000円、黒牛去勢9頭、高値56万円で平均44万円。

今回は前回よりやや下げの取引に終わりました。

佐藤畜産課長は「現在、あか牛輸入牛肉の影響もあり、黒牛の2等級の単価1500円、あか牛の2等級は1200円程度で肥育農家にとっては配合飼料、燃料の高騰により大変厳しい状況にある。子牛相場は高値で推移しているが、その原因は全国的に飼養者の高齢化もあり、飼養戸数の減で頭数も減っているのが高値推移の原因。今後においても、子牛相場は続くだろう」と話していました。

**寒締めホウレン草
12月上旬から2月中旬頃まで
出荷最盛期**



写真1 寒締めホウレン草の出荷作業

JA阿蘇一の宮選果場では寒締めホウレン草の出荷が昨年12月より行われています。2007年度は9月から播種が始まり天候にも恵まれ、生産者の努力により順調に成育してきました。

例年に比べ降霜も多く、糖度も12月に入り10度を超えており、食味も申し分ないということです。ホウレン草部会では、稲作後の水田やハウス夏秋野菜収穫後のほ場等を利用し栽培しており、肥培管理は難しいそうです。

出荷は九州内でも早く、12月

上旬から2月中旬頃までとなり、生育良好の寒締めホウレン草を見て販売担当の草尾職員は「自信を持って販売していきたい」と語っていました。

寒締めホウレン草の問い合わせは、JA阿蘇一の宮選果場まで。電話0967・22・39942

**07年度は2000t
3億円を見込む
貯蔵甘藷出荷協議会**

西原甘藷部会



写真2 西原村で行われた出荷協議会

本格的な出荷を前に西原甘藷部会では昨年12月7日、西原村構造改善センターで貯蔵甘藷出荷協議会を開き、部会員や関係者ら90人が出席しました。

07年度の作付けは前年対比の88%の97haで、収量は適度の雨が降らず肥大が進まなかった影響で生育期間が延び、2倍増の見込みとなっています。

片山勝深部会長は「高齢化が進む中、生産者が協力し現状の作付面積維持したい」と話していました。

協議会では検査体制や作業体制の確認やダンボールの取り扱いなどについても確認しました。

07年度の出荷は2000tで3億円を見込み、九州や中国・関西・岐阜使市場へ5月末まで出荷予定となっています。

**平成19年産米食味鑑定会
JA阿蘇南部営農センター**

JA阿蘇南部営農センターでは12月18日、稲作部会長・青壮年部・女性部・JA関係者ら約40人が参加し07産米食味鑑定会を開きました。

鑑定会では、同JA南部営農センター管内の主要品種であるコシヒカリ・あきげしき・ヒノヒカリと、同年から導入した夢の華を試食しました。参加者は色・つや・食味・堅さ・香りなどを判断基準に基づき、それぞれの米を鑑定しました。

南部営農センターの田上義秀農産課長は「この食味鑑定会で評価を頂いた結果を基に、今後の生産に役立てていき、また、販売面に活かしていきたい」と鑑定会の意義を語っていました。



写真3 各地区から集まった米を無料に鑑定する関係者



「生産者の所得向上を」
JA阿蘇中部ミニトマト部会総会



あいさつをする宮崎部長

JA阿蘇中部ミニトマト部会は12月10日、2007年反省会及び総会を阿蘇市で開き、部会員や行政・市場・JA関係者ら50人が参加しました。

宮崎健幸部長は「生産者の所得向上を目標とし、安心・安全な農産物の生産、共販体制の強化、連携を図り安定供給に努める」とあいさつしました。

その後、07年度の販売情勢報告、実績報告、さらに栽培経過や問題点、反省点等が各担当職員より報告があり、部会員で検討が行われました。

また、次年度は市場と連携を図り、有利販売を目指すことを確認しました。

前年の実績を上回り
7億5千万円を突破

中部トマト部会反省会・総会

JA阿蘇中部トマト部会は12月21日、2007年反省会及び総会を阿蘇市で開き、部会員や行政・市場・JA関係者ら150人が出席しました。中部トマト部会の07年実績は、前年に比べ出荷数量で107%、販売金額で105%と前年を上回った結果となりました。

山本誠也部長はあいさつで「今年には台風被害もなく順調に生産出荷ができ、昨年の実績を上回る結果となった。これもひとえに、関係市場のみなさん、関係機関のご尽力を頂いた賜物だと感謝している」と述べました。



あいさつをする山本誠也部長

市場関係者は「シーズンを通して安定した供給を頂き、消費地としては大変ありがたいことだと感謝している。また、品質的にも安定しており、夏場のトマトの消費拡大に大きく貢献できた」と、感謝と評価の意を語っていました。総会では、次年度部会生産目標として、部会平均で10a当たり10t、総出荷量3600tを目指して頑張っていくことを確認しました。

併せて07年の表彰も行われ、次の部門の方々（敬称略）が表彰されました。▽総販売高 日隈忠治・山本義輝・室恒和・甲斐澄雄・村山助雄▽反当収量 後藤光春・甲斐澄雄・甲斐誠治・日隈忠治・岡田孝七

販売高2億4千万円を達成
すべての部門で前年をクリア

JA阿蘇アスパラ部会

JA阿蘇アスパラ部会は12月12日、07年反省会及び総会を阿蘇市で開き、部会員や行政・市場・JA関係者ら100人が出席しました。

07年は、前年に比べ農家戸数で102%、栽培面積で120%、出荷数量で132%、販売金額で131%、平均単価で101%と



あいさつをする
笹原光司部長

すべて前年を上回り、品質でも前年より秀品の割合が4%アップしました。

笹原光司部長は挨拶の中で、販売高が部会設立から初めて2億4000万円を突破した喜びを語り、併せて同年3月、補助事業（国庫事業）により自動選別機・自動結束機の導入がなされたことに対し関係機関に謝辞を述べました。また市場関係者からも「消費者のニーズに応じた出荷である」と評価を得ました。07年の表彰も行われ、総販売高部門では笹原順子さんが受賞した。

その他の部門は次の通り。（敬称略）▽総販売高 室治夫・笹原憲治・西村北支▽栽培技術 山部ユウコ・佐藤春夫・山部エツ▽技術躍進 今村孝典・藤原孝誠・西村スイ子▽新人賞 洞田眞真也

「阿蘇イチゴ」を売り込め！ 初の中間検討会を実施 JA阿蘇南部イチゴ部会

JA阿蘇南部イチゴ部会（村上豊彦部会長）は1月31日、白水中央支所で2007年産イチゴ中間検討会を開きました。同部会で中間検討会が開催されるのは初めてであり、これは部会一丸となって、今後の生産・販売に取り組んでいくことを目的として行われたものです。

村上部会長は「消費地のニーズにあった販売アイテムにも取り組んでいき、安心・安全なイチゴの出荷に徹底したい」とあいさつ。また、当日は市場からも担当者が参加して、現在の販売状況報告や春先のイタミ果対策への指導を行いました。



「安心・安全なイチゴ出荷に徹底したい」と述べる村上部会長

JA阿蘇担当職員は「阿蘇イチゴが消費地で伸びるためには3つの力が必要。生産量は県内ではまだ低い品質では県下一を目指せる」と抱負を語っていました。

現在、昨年同時期対比で数量は77%、販売金額94%、単価112%と厳しい数字となつていますが、今後、量が増えてくる中で他産地と比べ、いかに単価を高いところで止められるかが勝負の分かれ道になるようです。

学外研修中の九州東海大生 中間検討会にも出席

昨年春から1年間かけて、地元農業技術や農業経営について学ぶため、九州東海大農学部応用植物学科の4年生が南部営農センター管内で学外研修を行っています。

1月31日には南部イチゴ部会中間検討会にも出席し、イチゴの販売状況や出荷形態について学びました。

当日参加した同部会書記君はJA熊本経済連への就職が決まっております。この日も経済連の担当職員が県内の状況報告をする様子を一生涯に見つめながら、「農家から直接話を聞くことが出来

てよかった。これからは皆さんの役に立てる職員を目指していきたい」と抱負を語っていました。

川元博美園芸課長は「卒業後も、この一年間に学んだことを職場で大いに発揮して欲しい」と励ましの言葉を送っていました。



「市場で売れるイチゴ」について話を聞く学生

期待の赤肉メロン播種 高森メロン部会

高森メロン部会（三森一男部会長）では1月31日、共同育苗のメロン播種作業をJA阿蘇の高森育苗施設で行いました。

当日は部会員やJA職員ら約20人が参加し、2008年度作付予定品種の「レノン」「肥後グリーン」「ホームラン」を二つ二つ丁寧に播種しました。今後は同育苗施設で共同管理され3月上旬に定植の予定となっています。

高森地区は赤肉メロンの産地で

あり、西原地区から始まるレノン販売の最後を締める産地でもあります。

JA阿蘇の担当者は「他県の赤肉産地の切れ間を狙って作付けするので、今後の生育に期待している」と話していました。作付面積は全品種合わせて1.3haとなっています。



播種作業をする部会員



2007 まるごとあそっ子スクール卒業式を迎える



ぜんざいで
体も心も
あったかに!!



ベッタン!
ベッタン!!



後藤副校長先生から
修了証書を授与

みんなが農業の大切さを実感した「あそっ子」

2007年5月から始まったJA阿蘇「まるごとあそっ子スクール」が12月8日、卒業式（閉校式）を迎えました。卒業式（閉校式）には生徒・保護者ら約50人が参加しました。まず、副校長先生の後藤安弘常務が「農業の厳しさ・大切さを忘れず、これからも頑張ってください」とあいさつ。続いて各組の代表により感想文の発表がありました。その中で、5組の佐藤瞳さんは「農業は実際に体験してみることが大切だと思いました。あそっ子スクールで食べ物を作る“農業”の大切さを体で感じることができました」と、まるごとあそっ子スクールでの感想を述べました。その後、生徒の一人一人に修了証書と生徒自身が田植え・稲刈りをしたお米5kgが記念品として贈られました。そして、最後の行事として餅つきが行われました。みんなが作った餅をみんなで丸めて、JA女性部が用意したきな粉やぜんざいに入れて食べました。参加した子ども（生徒）たちは「来年もまた参加したい…」とにこやかに話していました。



西原村立河原小学校に、地元の古閑昭輝さんが12月19日、学校の美化活動に役立ててくださいと葉ボタンの苗200鉢を寄付しました。

贈呈式では同小学校ポランテニア委員会6年生の東あきらさんと下田彩加さんに、古閑さんが葉ボタン苗を手渡ししました。そして、代表の下田さんが「みんなで大事に育てます。ありがとうございます。ありがとうございました。」とお礼の言葉を述べました。

河原小学校では美化運動として校長先生自ら花いっぱい運動に取り組み、季節ごとに花の種類を変えて来校者の心を和ませています。

JA阿蘇、初めて農機実演展示会を開催 会場には小物から大型農機具まで数百台が並ぶ

JA阿蘇の阿蘇町農機・車輛センターでは1月17日、営農組織経営に役立てて頂くことを目的に「新春農機実演展示会」を同敷地内と隣接する水田で開きました。JA阿蘇が今回のような実演展示会を開催するのは初めてで、各メーカーより最新の農機具が出品され、会場には小物から大型農機具まで数百台の農機具が並びました。開会式で荒木秀孝阿蘇町農機車輛センター長が「農政の大きな変革に対応するため、作物の品質向上・高収量を可能とする農機提供をと考えました。今回、作業効率アップと作業時間の短縮を図る農機具を取り揃えましたので、是非、実演展示会で体感して頂きたいとあいさつしました。

会場では午前と午後の2回にわたり隣接の水田で実演も行われ、来場者の関心を寄せていました。



窓口ロールプレイング県大会でJA阿蘇チーム初の快挙!

JA阿蘇代表の小国郷中央支所
吉野さん・宮崎課長へAに最優秀賞



最優秀賞の小国郷中央支所の演技

信用窓口担当者の提案セール技術の習得、貯金窓口担当者としての自覚認識、事務の堅固性への意識向上を目的に「第5回窓口ロールプレイング大会」(主催JAバンク熊本)が1月26日、宇城市のウイング松橋で開催されました。大会には県下JAから予選を勝ち抜いた11チームが出場。競技の結果、JA阿蘇代表の小国郷中央支所チーム(吉野美鈴職員・宮崎哲也金融課長へA)が最優秀賞を受賞しました。同大会でJA阿蘇が入賞したのは初めてであり、JA阿蘇にとっても大きな快挙となりました。



吉野美鈴職員(左)と宮崎哲也金融課長

競技では吉野さんがテラー役に、宮崎課長が上司役として必須課題のマイカー・ローンの推進についてお客様(農林中金職員)に分かりやすく説明しました。

吉野さんは「競技前は大変緊張したが、競技中はお客様への応対が普段通りに出来ました。たくさんの人の協力のもと、頑張れてよかった」と喜びを話してくれました。

宮崎課長は「賞に関係なく100点満点の出来だった。通常の業務で他の職員からの指導があつて基本ができていた。この賞は窓口リーダーをはじめサブリーダー、また関係職員等多くの方々サポートがあったからこそ取れた。今後はなお一層、気を引き締めて窓口業務の向上に努めたいと思う」と感動した様子で話していました。

模範演技もJA阿蘇の 安藤・小堀・藤本3職員で披露



競技に先立ち模範演技が行われましたが、同演技もJA阿蘇久木野中央支所の小堀文職員(写真中央)、草部支所の安藤和枝職員(写真左)、白水中央支所の藤本親幸職員(写真右)が行い、素晴らしい演技に会場から大きな拍手が送られました。

審査にあたった丸山信義組合長は「JA阿蘇の予選会から白熱し、代表になった小国郷中央支所は大会まで練習を積み重ねレベルの高い優勝だった。金融商品が複雑化する中、お客様への応対や商品の説明などこれから現場で生かしてほしい。また、模範演技をした久木野中央支所も素晴らしい。JA阿蘇のレベルの高さを見せた大会でもあった」と評価しました。

尚、最優秀賞を受賞した小国

郷中央支所に対し、1月29日開催の理事会前に賞状の授与式が行われ、その後、演技の披露が行われました。

ロールプレイング阿蘇大会 小国郷チームが県大会へ

ロールプレイング阿蘇大会は12月8日、農林中金熊本支店から審査員を迎え、JA阿蘇の18チームが出場し一の宮中央支所で行われました。競技の結果、小国郷中央支所の吉野美鈴・高村龍司・宮崎哲也職員チームが最優秀賞に輝きました。同チームは1月の県大会にJA阿蘇代表として出場しました。また優秀賞には久木野中央支所チーム(小堀文・甲斐千春・藤本親幸職員)と、摩山支所チーム(高橋なるみ・佐藤京子・市原千恵美職員)が選ばれました。

尚、優秀賞の久木野チームは県大会で模範演技を行いました。



阿蘇大会で優秀賞の摩山支所チーム
(左から市原・高橋・佐藤の各職員)

協同組合間の交流セミナー開催

J A 熊本教育センターで1月17・18日、協同組合間交流セミナーが開かれました。

協同組合の社会的責任や役割を考える目的で初めて開かれたセミナーに、J A 阿蘇をはじめ県内農協・生協・森林組合・漁協などから24人が参加しました。

初めに各組合による「協同組合原則」の事例報告が行われ、次に東京農大の白石正彦教授による基調講演が行われました。その後4班に分かれて「協同組合原則をどう実践するか」をテーマにグループ討議が行われました。



各班で協同組合原則について討議を行う

熊本に春の訪れ… 「JA植木まつり」 2月25日まで開催



熊本に春の訪れを告げる恒例の「JA植木まつり」が、1月26日から2月25日まで県農業公園カントリーパークで開催されています。

今年で33回目を迎えたJA植木まつりには庭木や花、鉢物など約120万点が出品されており、文字通り「緑の祭典」といえます。会場ではJA阿蘇の農産物や農産加工品、特産品なども展示、即売されており、この植木まつりを心待ちにしていた多くの園芸ファンや観光客で賑わいを見せています。



平成19年度JA共済全国小・中学校「普通コンクール熊本県大会」
JA阿蘇管内入賞者（敬称略）

第51回書道コンクール「半紙の部」

◇ JA共済連熊本県本部長賞 観賞

さくら（小国町立宮原小1年）

河津 華乃（小国町立宮原小5年）

◇ 銅賞

森下 健太郎（小国町立宮原小4年）

◇ 佳作

さいつ ふぶ（小国町立宮原小2年）

諫山 希望（小国町立宮原小6年）

第51回書道コンクール「条幅の部」

◇ JA共済連熊本県本部長賞 観賞

後藤 ちぐさ（高森町立高森中3年）

◇ 佳作

田上 りょう平（南阿蘇村立白水小4年）

田上 春菜（南阿蘇村立白水小3年）

JA阿蘇女性部、地元の食材生かし各地区で正月料理の講習会



そば打ちにも初めて挑戦

甲斐いつみ生活指導員は「この正月料理講習会は長年続いており、毎年部員の方が楽しみにしておられ、女性部に活気が出てきました。今後は地域の伝統料理の普及にも力を入れていきたい」と話していました。

き部員17人とJA生活指導員が参加しました。得意料理を持つ部員を先生に、数の子の生春巻き・伊達巻き・紅白なます・エビの酒煮など8品を作りました。また、自分で打った年越しそばを家族に食べさせたいと手打ちそばにも挑戦しました。



JA阿蘇女性部高森支部は12月5日、高森町朋遊館で「正月料理講習会」を開

◆高森支部 そば打ちにも初挑戦

力の松笠ロール」「抹茶入り栗きんとん」など10数種類のメニューを作りしました。講習会終了後は全員で試食。参加者からは「とてもおいしい。おせちに使える」などと感想をもらっていました。



12月6日、阿蘇市の農業改善センターでは管内の女性部から31人が参加して、正月料理講習会が開かれました。営農生活センターより招いた講師の指導で「鶏肉の彩り巻き」「アイ

◆阿蘇市農業改善センター 10種類以上を調理！



味にも彩りにも大満足



10数種類のメニューを調理

JA阿蘇南部営農センター管内では12月11日、女性部の白水支部・長陽支部の約30人が参加し「家の光」12月号の献立より抜粋したメニューも含め15品ほどを、地元野菜を使用し調理しました。調理・盛り付け後は、部員全員で試食し自分たちの作った料理の味を確かめていました。参加した部員は「他の部員とも交流できるいい機会でもあり、楽しく作ることが出来た」感想を語っていました。

◆南部営農センター 部員との交流も楽しい…



白水支部、長陽支部の皆さん



地元野菜を使用し調理

地域水田農業活性化緊急対策が決定されました！

19年産の米価は、米の消費量が年々減少（9万トン程度）する中で、生産調整の取組が十分でないこと等から、大幅に下落する異常事態となっています。このような状況を改善し、地域全体として生産調整目標を達成するため、19年度の国の補正予算で「地域水田農業活性化緊急対策」が決定されました。米以外の作物や非主食用米の生産に挑戦しましょう！



地域水田農業活性化緊急対策の概要

1. 生産調整の拡大を図る農業者の方に、緊急的に一時金を支払います。（この一時金は契約当初1回限りの支払です。）
2. 一時金は、以下の2つの取組を対象として、地域水田農業推進協議会と契約を締結した農業者に対して支払われます。

① 長期生産調整実施契約

【概要】
○20年産以降、麦・大豆、飼料作物等により生産調整を拡大する契約（5年契約）を締結

【交付額】
○19年産の生産調整実施者
5万円/10a
○19年産の生産調整非実施者
3万円/10a

② 非主食用米低コスト生産技術確立試験契約

【概要】
○20年産以降、非主食用米（飼料米、バイオ米等）の低コスト生産技術の確立試験に取り組む契約（3年契約）を締結

【交付額】
○20年産の試験圃場面積（生産調整拡大分）
5万円/10a

○交付金は、20年3月末に一時金として支払われます。（1回限りの支払で契約期間中、毎年交付はされません。）
○交付金の対象となる面積は、20年産で生産調整を拡大する部分です（19年産までの生産調整部分は対象となりません）
（なお、契約期間中に生産調整を実施しなくなった場合は、一時金は返還することになります。）
○地域水田農業推進協議会との契約は、20年2月末までには締結して下さい。



この対策の内容等に関し、ご不明な点がございましたら、各市町村の「地域水田農業推進協議会」（市町村・JA等）またはお近くの農政局（農政事務所、地域課）まで、お気軽にご相談ください。

理事会・監事会報告

■平成19年度第10回理事会

日時 平成19年12月17日 午後2時

場所 熊本交通センターホテル

- 1.開会
- 2.組合長挨拶
- 3.協議事項
委員会報告(債権管理委員会)
11月末実績報告

- 1) 平成19年度上半期監事監査報告について
- 2) 平成19年度資産査定要領(案)について
- 3) 平成19年度担保評価基準(案)について
- 4) 貸出金について
- 5) 久木野給油所リース契約について
- 6) 不良債権最終処理に伴う部分直接償却について

報告事項 組織整備にかかる概況報告について
(JA熊本信連)

報告事項 平成19年度JA共済コンプライアンス点検
結果及び改善方針の概要について

報告事項 年末・年始休業について

報告事項 導入家畜等欄卸監査実施について

報告事項 平成19年産米集荷状況について

- 1) 平成19年度上半期監事監査回答書(案)について
 - 2) 平成19年度期中監査報告について(全国監査機構)
 - 3) 農林中金の後配出資の増資について
 - 4) 資産査定要領(案)について(19年度確定版)
 - 5) 貸出金について
 - 6) 平成19年度債権譲渡・債権償却(案)について
 - 7) 畜産近代化リース事業について
 - 8) 登録金融機関業務にかかる「外務員の服務規程」の一部改正について
 - 9) JAマイカーローン「輪・輪スプリングキャンペーン2008」等の実施に伴うキャンペーン金利の取扱について
 - 10) 平成20年度職員二次募集について
 - 11) JA阿蘇女性参画促進対策について
 - 12) 元中遺支所、倉庫及び土地売却について
 - 13) 久木野給油所移転に伴う現給油所処分について
- 報告事項 農政連任政報告会の開催について
- 報告事項 購買借換資金対応について

■平成19年度第11回理事会

日時 平成20年1月29日 午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

- 1.開会
- 2.組合長挨拶
- 3.協議事項
委員会報告(債権管理委員会・総務委員会)
12月末実績報告及び見込決算について

●平成19年度第9回監事会

●平成19年度第9回監事会

日時 平成20年1月21日 場所 本所会議室

- 1.開会
- 2.挨拶
- 3.議題
1) 平成19年度上半期決算監事監査回答書について
2) 平成19年度導入家畜等欄卸監事監査実施について
3) 平成19年度全国監査機構期中監査報告について
4) その他

JA阿蘇職員異動のお知らせ

氏名	新 辞 令	発令年月日	旧 辞 令
河津 剛成	小国郷中央支所南小国金融店舗統括兼南小国給油所長	平成19年12月20日	小国郷中央支所購買課南小国給油所長
清原 陽一	阿蘇町中央支所購買課黒川給油所長	平成20年1月18日	阿蘇町中央支所購買課黒川給油所係
池田 博文	金融共済部貯金融資課販資係JAバンク 熊本ローンセンター駐在	平成20年1月24日	営農部販売課販売係



Dr. やまさん

お知恵拝借

高齢者の

肺炎に注意



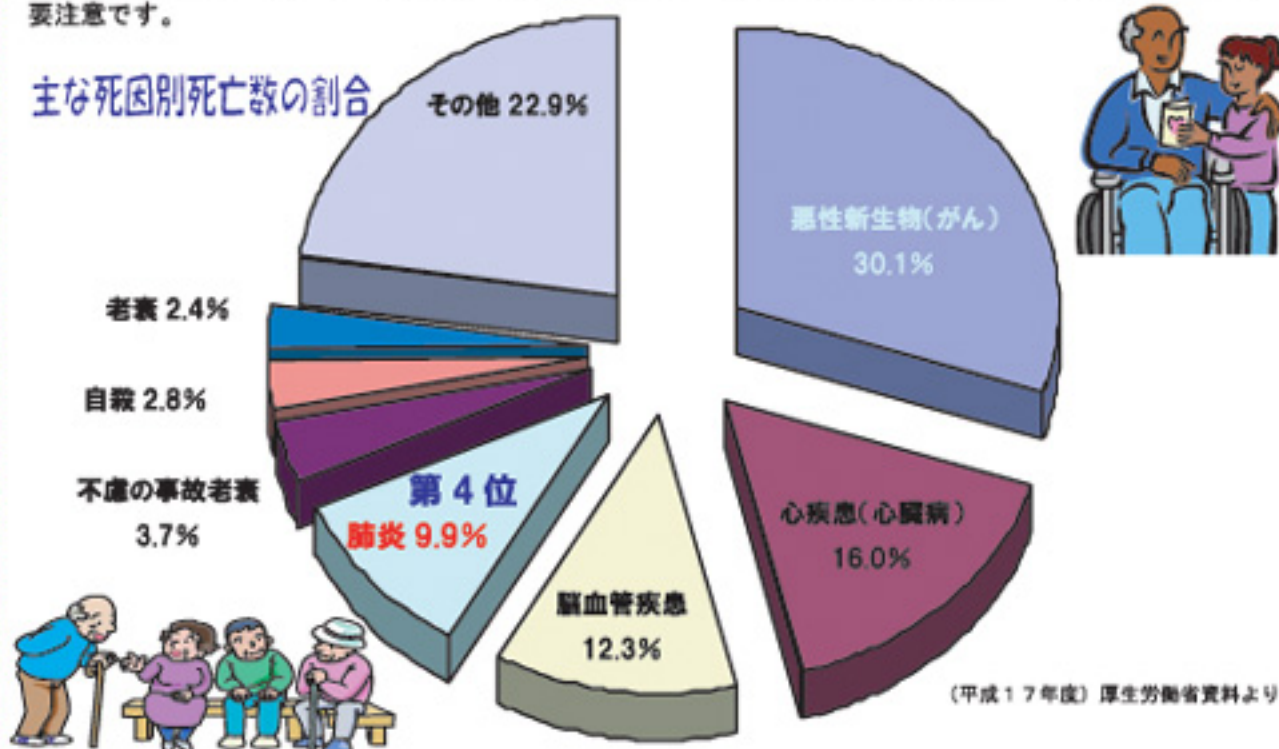
肺炎というと「かぜをこじらせてなる病気」と軽く考えていませんか？

肺炎は日本人の死亡原因の第 4 位に位置しています。

しかも、肺炎で亡くなる人の約 90% は 65 歳以上で、高齢者の直接死因の約 30% が肺炎です。高齢者にとって肺炎は、命にかかわる重大な病気といえます。

高齢者に見られる肺炎の特徴としては、まず発症がゆるやかで、自覚症状に乏しく、熱や咳が軽度で、ただ「いつもより元気がない」程度のことがあり、気付いてみたら重症だったということがありますので要注意です。

主な死因別死亡数の割合



高齢者は加齢とともに免疫力が低下していることももちろんですが、原因で最も多いのは「誤嚥^{ゴトウ}」です。高齢者は物を飲み込む力が落ち、気管に唾^{つば}や食べ物が入ってしまい肺炎を引き起こすことがありますので、嚥下^{ゴトウ}(飲み込む)機能の低下を防ぐことも大切です。

「ごっくんと唾^{つば}を飲み込んで」と嚥下^{ゴトウ}を促すのです。それを毎日やることで機能低下の防止になります。冬は、肺炎を起こす人が急増する季節です。本人も周りの人も十分に注意してください

※「誤嚥^{ゴトウ}」とは、誤って食べ物や飲み物、唾液を気管支に入れてしまうことです。



熊本県厚生連診療所

所長 中山 茂樹

TEL096 (328) 1250 FAX096 (328) 1258



旅行積立プラン

JA阿蘇 旅 倶 楽 部

旅行定期積金

絶賛募集中!!

積立期間3年
月々**10,000円**

3年目 オーストラリア

満期金額 **228,000円**

(オーストラリアイメージ)

2年目 香港・マカオ

満期金額 **98,400円**

(香港・マカオイメージ)

1年目 博多座観劇と 嬉野温泉

満期金額 **33,600円**

(博多座・嬉野温泉イメージ)



募集期間／平成20年1月15日(火)～2月29日(金)

旅行定期積金プランに関するお申し込み・お問い合わせは下記へ。

阿蘇農業協同組合

貯金融資課 ☎0967-22-6128	波野支所 ☎0967-24-2301	草部支所 ☎0967-64-0311
一の宮中央支所 ☎0967-22-1321	長陽中央支所 ☎0967-67-0511	野尻支所 ☎0967-65-0311
阿蘇町中央支所 ☎0967-32-4411	久木野中央支所 ☎0967-67-0035	蘇陽中央支所 ☎0967-83-1135
小国郷中央支所 ☎0967-46-3211	白水中央支所 ☎0967-62-9131	馬見原支所 ☎0967-83-0033
産山支所 ☎0967-25-2311	高森中央支所 ☎0967-62-0521	西原中央支所 ☎096-279-3222